

①テーマ 自然・食育「いくつかの柑橘系の果物を切って香を楽しみながら様々な大きさ、色や形に触れる」

②対象児 1才（9名）・2歳（9名）

③テーマを設定した理由

小さな森の保育園のプランターのレモンの木に、たった1つレモンがなりました。冬を越し、「レモン、どうするの?」「触ってみたい!」という2歳の声がありました。給食のとき、「みかんっていい匂い」と楽しみにしている子どもたちに柑橘系の香を楽しむ機会をつくろうと考えました。

④テーマに関連づけて

冬になるとレモンの葉の色や数が変わったことに気づかせながら、また季節がめぐり新しい葉に虫たちが来るだちうという興味を持たせたい。柑橘系の果実を触ったり、切り口の様子を見たりしながら（きんかん、伊予柑、グレープフルーツ）香の違いも体験しました。

⑤実施日 令和8年2月12日（木）

⑦活動予定内容（問いを考える）「この果物、なんだと思う?」

「どんな色に見える?」

「木にずっとなっていて、大きくなったレモン。まだ大きくなるのかな?」

「他にもみかんのなかまがあるんだよ。大きいね（グレープフルーツ）、小さいね（きんかん）」

「どんな形かな?」

「皮の中ってどんなだろう?」「切ってみようか?」

⑧活動予定内容

ベランダのプランターのレモン木の周りに集まり、木になっているレモンを観察する。

その後で、木からレモンを収穫する。五感を使って他の柑橘系の果物にも親しむ。

⑨活動について 全員に体験の経験がきるよう 配慮する。

